

自己評価・外部評価 評価表

熊谷生協ヘルパーステーション

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			① できている	② る ほぼ できてい	③ 事 が できてい ない	④ ない 全く できてい		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	0	6	0	0	「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」という理念を掲げ、健康で平和な生活を送っていけるように努めている。	適切に評価されている。
3								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	0	6	0	0	理念については、入職時のオリエンテーションにて学習したうえで、年1回、学習会を開催し、認識している。	適切に評価されている。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	2	4	0	0	研修の申し込みを積極的に行い、受ける機会を確保している。また、研修参加者から他職員への伝達もされ共有している。	適切に評価されている。 外部研修等でお会いしたりして、研修へ積極的に参加されているんだと感じた。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	3	0	0	職員のスキルや力量を考えながら、雇用形態も考慮し、シフトの調整を行っている。	適切に評価されている。

介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	1	5	0	0	連絡ノートや、スマケアを活用し、情報を共有する機会が確保されている。また、直接ミニカンファレンスを開催したりもしている。	適切に評価されている。連絡ノートで情報が共有されていたり、スマケアで情報を閲覧できる仕組みが良いと思う。
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	1	5	0	0	適材適所を考慮しながら、シフトを組めるように、柔軟な人材配置を行っている。	適切に評価されている。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	2	4	0	0	介護・医療連携推進会議を適時、適切に開催し、ご意見や要望を伺いながら、適切に反映させることができている。	適切に評価されている。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	3	0	0	スマケアの共有閲覧(ケアマネ・家族・訪問看護・往診)を行う為に、個人情報に配慮し、情報を共有している。	適切に評価されている。
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	3	0	0	訪問用の車両にドライブレコーダーを設置し、事故防止に努めている。ドライブレコーダー稼働中のステッカーも貼っている。オクレンジャーの登録をした。	適切に評価されている。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	6	0	0	0	書類は、鍵付きの棚に保管し、社外持ち出し禁止にしている。スマケアは、暗証番号で管理している。	適切に評価されている。

II 過程評価 (Process)

1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供

(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成

[illegible]

介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	3	3	0	0	スマケアの記録にて情報の共有をしている。緊急性の高い物に関しては直接連絡を行なったりしている。	適切に評価されている。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	3	3	0	0	往診・NS・OT・PT・STと連携し、指導・助言を頂いている。	適切に評価されている。
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	3	3	0	0	サービス開始前に契約書やサービス内容の説明に基づき、説明を行っている。また、アセスメントを実施し、情報の共有をしている。	適切に評価されている。時間を設けてしっかりと説明をされていた。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	3	3	0	0	作成した計画の内容はサービス提供責任者より、本人に説明し、共通の認識を得よう努めている。	適切に評価されている。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	3	3	0	0	スマケアや自宅の共有ノートを活用して、情報の共有を行なっている。また、緊急性のある事については、その場で電話で報告を行っている。	適切に評価されている。状態や情報をわかりやすく記入してくれている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的なマネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	3	3	0	0	変化に応じて、その都度報告を行い、変更が必要な場合には共同で決められている。	適切に評価されている。変化に応じてすぐに報告をしてくれて助かっている。

	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	0	6	0	0	地域のサービスを把握しながら、フォーマル・インフォーマルサービスを活用できるようなサービスを提案できるよう努めている。	適切に評価されている。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	6	0	0	0	モニタリングの報告やスマケアの記録を確認し、多職種に情報提供している。	適切に評価されている。支援の状況や利用者の身体状況を詳しく報告してくれている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	0	6	0	0	必要に応じて、インフォーマルサービスの活用について、多職種と検討を行っている。	適切に評価されている。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	3	3	0	0	退院や退所予定前に事前のカンファレンスに参加をしたり、入院中の情報等をケアマネや看護に積極的に確認するように努めている。	適切に評価されている。すぐに対応してくれて良かった。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	3	3	0	0	多職種で情報を共有して、話し合いを行なった上で、役割を分担をしながら連携をとっている。	適切に評価されている。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	6	0	0	0	運営推進会議の議事録を配布して情報を発信している。また、事業所内でも閲覧できる場所に保管している。	適切に評価されている。

	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	3	0	0	イベントへの参加や営業を行い、チラシ等を配布しながら、積極的に周知活動を行っている。	適切に評価されている。営業や利用状況の説明等で訪問してくれたりしている。
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	0	6	0	0	学習しながら、十分な理解ができるよう努めている。また、その都度情報の更新にも努めている。	適切に評価されている。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	3	3	0	0	特定の建物等に限定せず、広い地域へ行っている。	適切に評価されている。遠い場所かと思ったが快く引き受けてくれた。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	0	6	0	0	サービス提供等を通じて得た情報や気づいた事は、多職種で共有し、介護・看護の観点から、具体的な課題提起や、改善策の提案をしていくよう努めている。	適切に評価されている。
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	0	6	0	0	目標達成に向けて支援し、自立度が上がった。要介護度が下がったりする事に繋がった。	適切に評価されている。ヘルパー訪問を待っていたり、楽しく在宅生活を送っているのが見受けられ良かった。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	0	6	0	0	ご本人からご家族まで、その都度相談に応じたり、訪問回数を状態に合わせて増やす等の対応をする事で、安心して過すことが出来ているとお言葉を頂いたりしている。	適切に評価されている。ご家族からの声と同様に届いており、安心した。